

「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた取組状況について

1 要旨・目的

全国トップレベルの高度医療の提供や医療人材の育成等の機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」（新病院）の整備に向け、令和5年9月に策定した「高度医療・人材育成拠点基本計画」に基づく新病院の医療機能や施設整備等に関する取組状況等について報告する。

2 現状・背景

- (1) 高齢化に伴って、医療ニーズが高まる一方で、労働力人口が減少し、医療を支える人的資源が縮小するとともに、多数の症例や研修体制が充実している大都市圏の病院に若手医師や研修医の集中が加速することで、県内の医師不足が顕在化することが見込まれる。
- (2) 中山間地域においては、地方の基幹病院の医師不足により、サービス供給停止・縮小を余儀なくされ、都市部に比べてより速く、医療基盤の維持が困難になることが予想される。

【新病院開院までの流れ】 ※ スケジュールは現時点の想定

拠点ビジョン → 基本構想 → 基本計画 → 基本設計 → 実施設計 → 建設工事 → 開院
2022年3月 2022年11月 2023年9月 2024～2026年 2026～2030年 2030年

3 概要

(1) 対象者

県民、医療関係者等

(2) 実施内容（取組状況）

ア 広島大学との連携協定の締結

高度医療・人材育成拠点の整備に向けて、広島大学と、県内における地域完結型の医療提供体制の構築に寄与すること及び医療水準の向上を図ることを目的として、協定を締結する。

【概要】

連携事項	・地域のニーズに即した最高水準の医療の提供 ・質の高い医療人材の育成のための環境の整備 ・高い水準の医療を提供するための臨床研究の充実 ・地域のニーズに即した医療提供体制の維持・確保
協定締結式	令和7年7月7日（月）13：30～14：00（北館2階 第1応接室）
出席者 （敬称略）	広島大学 学長 越智 光夫 広島県 知事 湯崎 英彦

イ 地方独立行政法人広島県立病院機構の取組

（ア）ミッション・ビジョン・バリューの策定

中期計画に基づき、組織全体のパフォーマンスが最大限発揮できるよう、法人職員の意見を反映させたミッション（使命）・ビジョン（目指すべき将来の姿）・バリュー（価値観）を策定する。

（参考：第1期中期計画前文（抜粋））

組織全体のパフォーマンスが最大限発揮できるよう、職員の意見を反映させたミッション（使命）・バリュー（価値観）・ビジョン（目指すべき将来の姿）を定め、職員への理解・浸透を図ることで、病院機構の組織風土の一体感を醸成する。

【策定にあたっての考え方】

○ ミッション（使命）

広島県内のあらゆる地域へ最高水準の医療と優れた人材を持続的に提供することが、我々の創造する「付加価値」であり、県民の皆様から「新病院ができて良かった」と感じて頂くと同時に職員も誇りを持って働ける、「患者満足」と「従業員満足」の両方を実現する経営を目指す。

○ ビジョン（目指すべき姿）・バリュー（価値）

何が最良かを考える「共感力と創造力」、「情熱とチャレンジ精神」、「主体性」、「経営意識」、「心理的安全性」をテーマとする。

【本文】

ミッション（使命）

広島県内にひろく最高の医療・人材を持続的に提供し、県民から信頼され、職員が誇りを持って働く病院を実現します

ビジョン（目指すべき姿）・バリュー（価値）

- ・ 最良の医療サービスを提供する
- ・ 変化をいとわず情熱と使命感をもって挑戦する
- ・ 当事者意識と責任感をもって課題を解決する
- ・ 費用対効果を考え、持続可能な病院経営に努める
- ・ ハラスメントのない、誰もが尊重される職場を作る

【意見募集】

策定に当たり、本文について法人職員を対象として意見を募集した。

募集期間	令和7年4月30日（水）～令和7年5月23日（金）
募集方法	Web アンケート
主な意見	・まさに新病院の果たすべき使命を表現していると思う。 ・伝えたいエッセンスが凝縮されていてとても良いと思う。

【策定後の取組】

法人職員への浸透を図るため、定期的な情報発信に加え、ミッション・ビジョン・バリューに基づく行動を共有する仕組み、職員研修でのワークショップ、掲示物での見える化等の取組を検討する。

（イ）年度計画の一部変更

令和7年度の年度計画については、4月18日の常任委員会資料において、地方独立行政法人広島県立病院機構評価委員会等の意見を踏まえ変更を検討するとしていた。検討の結果、取組に対する指標及び取組内容について、地方独立行政法人広島県立病院機構評価委員会の委員からの意見を踏まえ、一部変更する。

【内容】（詳細は別紙）

委員からの意見 （年度計画の変更を伴うもの）	変更の内容
・視察回数や訪問回数が指標として大事なのではなく、その活動によって、どのような成果や課題が見えてきたのかが大事である。	・年度計画の指標について、視察回数や訪問回数ではなく、視察・訪問後に明らかになった成果や課題を共有・検討した回数へ変更。
・バイオシミラー、ジェネリック医薬品の活用や、フォーミュラリの作成について、初年度から検討が必要。	・費用の適正化に向けて、後発医薬品、バイオシミラーの使用促進やフォーミュラリの活用を含めた共同購入や品目・仕様の共通化の取組を追加。

（ウ）広島県立病院機構のロゴマークの募集

認知度やブランドイメージを向上させるため、ロゴマークを作成することとし、県民や患者に親しみやすいシンボルとなるようデザインを公募する。

【募集概要】

ロゴマークについて	・機構の理念（ミッション・ビジョン・バリュー）を反映したもの ・各種媒体での使用に適した、印象に残るデザイン ・マークと文字の一体型デザイン（マーク単体でも利用可能とすること）等
応募資格	日本国内にお住まいの方（年齢、プロ・アマは問わない）
募集期間	令和7年6月19日（木）～令和7年7月18日（金）17：00まで

【応募方法】（6月19日掲載予定）

<https://hpho.jp/news/2025/06/logo-koubo-20250602.html>

法人ホームページ掲載の申込フォームから応募が可能。



(3) 予算額（一部国庫）

令和7年度当初予算額 67,073,308 千円（債務負担行為額 1,249,000 千円）

(4) その他

高度医療・人材育成拠点の整備について（広島県 HP）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/276/koudoiryou-jinzaiikuseikyoten.html>

（※高度医療・人材育成拠点基本計画や基本構想、各種会議資料などを掲載）



地方独立行政法人広島県立病院機構について（法人 HP）

<https://hpho.jp>

（※機構概要、病院紹介などを掲載）



地方独立行政法人広島県立病院機構令和7年度年度計画新旧対照表（抜粋）

変更後

第2 高度医療・人材育成拠点の整備

1 高度医療・人材育成拠点 整備に向けた取組

(1) 高度急性期を中心とした医療機能

イ 幅広い疾患に対応する「こども病院」

① 小児集中治療室（P I C U）に必要な医療機器等の精査

② P I C U立ち上げに向けた連携施設の選定及び訪問

③ 不妊治療に関わる先進医療の充実に向けた課題整理（施設基準等の確認）

④ 児童・思春期症例に関わる医療機関との連携方法の在り方検討

⑤ 小児医療を提供する基幹病院等との協議による役割分担の方向性に関する関係者との合意形成

⑥ 舟入市民病院の機能移管に向けた医療スタッフへの研修開始

⑦ 小児医療に関わる医療スタッフ必要数の精緻化

⑧ P I C U立ち上げに関する先進医療機関への研修計画の概要策定

【指標】

項 目	令和5年度実績	令和7年度目標
トリアージ研修受講看護師	0人	4人
小児医療に関わる先進医療機関を訪問し、成果や課題を共有・検討した回数	2回	2回

エ 新興・再興感染症への対応

① 第二種感染症指定医療機関として必要な感染症病床の設備等の精緻化

② 感染症対策連携協議会における新病院の感染症医療上の位置づけに関する合意形成

③ 感染症疑似患者の診療を想定したゾーニング（動線）の精緻化

④ ハイレベルな院内感染対策等を行う医療機関への視察及び連携体制の構築

⑤ 感染症流行時の病床運用の基本方針等策定

⑥ 独立した感染症部門設置に向けた在り方策定

⑦ 感染症流行時を想定した訓練の質向上に向けた課題整理

⑧ 感染症対応の中核となる医療スタッフ必要数の精緻化

【指標】

項 目	令和5年度実績	令和7年度目標
ハイレベルな院内感染対策等を行う医療機関を視察し、成果や課題を共有・検討した回数	0回	2回

変更前

第2 高度医療・人材育成拠点の整備

1 高度医療・人材育成拠点 整備に向けた取組

(1) 高度急性期を中心とした医療機能

イ 幅広い疾患に対応する「こども病院」

① 小児集中治療室（P I C U）に必要な医療機器等の精査

② P I C U立ち上げに向けた連携施設の選定及び訪問

③ 不妊治療に関わる先進医療の充実に向けた課題整理（施設基準等の確認）

④ 児童・思春期症例に関わる医療機関との連携方法の在り方検討

⑤ 小児医療を提供する基幹病院等との協議による役割分担の方向性に関する関係者との合意形成

⑥ 舟入市民病院の機能移管に向けた医療スタッフへの研修開始

⑦ 小児医療に関わる医療スタッフ必要数の精緻化

⑧ P I C U立ち上げに関する先進医療機関への研修計画の概要策定

【指標】

項 目	令和5年度実績	令和7年度目標
トリアージ研修受講看護師	0人	4人
小児医療に関わる先進医療機関への訪問回数	2回	2回

エ 新興・再興感染症への対応

① 第二種感染症指定医療機関として必要な感染症病床の設備等の精緻化

② 感染症対策連携協議会における新病院の感染症医療上の位置づけに関する合意形成

③ 感染症疑似患者の診療を想定したゾーニング（動線）の精緻化

④ ハイレベルな院内感染対策等を行う医療機関への視察及び連携体制の構築

⑤ 感染症流行時の病床運用の基本方針等策定

⑥ 独立した感染症部門設置に向けた在り方策定

⑦ 感染症流行時を想定した訓練の質向上に向けた課題整理

⑧ 感染症対応の中核となる医療スタッフ必要数の精緻化

【指標】

項 目	令和5年度実績	令和7年度目標
ハイレベルな院内感染対策等を行う医療機関への視察回数	0回	2回

変更後	変更前												
(2) 医療人材育成機能 ア 高度急性期医療を担う人材確保・育成 ① シミュレーションセンターに必要な医療機器等の精査 ② 現状の研修プログラムの充実に向けた課題整理 ③ 多様な勤務形態の検討に向けた事例調査及び制度概要設計 ④ 教育部門によるキャリアサポートセンターの在り方検討 ⑤ 高難度治療実施に向けた各学会の施設基準等の調査及び課題整理 ⑥ 専門研修プログラムの充実に向けた課題整理と関係医療機関との調整 ⑦ 教育部門による学会や資格取得に向けた研修等に対する支援方法の改善 ⑧ 教育部門の中核となる人材の処遇改善を含めた在り方検討 ⑨ 教育部門による指導者研修プログラムの開発に向けた事例調査、指導者に対する評価方法の事例調査及び制度設計 ⑩ 特定行為パッケージ研修の実施に向けた課題整理（再掲） ⑪ 各診療科、各部門における医療スタッフ必要数の精緻化（再掲） ⑫ 病院総合医の育成実績のある有力医療機関と連携した人材確保 ⑬ 広報部門によるSNSやレジナビなどを利用した広報戦略方針の検討 【指標】 <table><tr><th>項 目</th><th>令和5年度実績</th><th>令和7年度目標</th></tr><tr><td>先進施設を訪問し、勤務形態や人材育成等に関する成果や課題を共有・検討した回数</td><td>2回</td><td>3回</td></tr></table>	項 目	令和5年度実績	令和7年度目標	先進施設を訪問し、勤務形態や人材育成等に関する成果や課題を共有・検討した回数	2回	3回	(2) 医療人材育成機能 ア 高度急性期医療を担う人材確保・育成 ① シミュレーションセンターに必要な医療機器等の精査 ② 現状の研修プログラムの充実に向けた課題整理 ③ 多様な勤務形態の検討に向けた事例調査及び制度概要設計 ④ 教育部門によるキャリアサポートセンターの在り方検討 ⑤ 高難度治療実施に向けた各学会の施設基準等の調査及び課題整理 ⑥ 専門研修プログラムの充実に向けた課題整理と関係医療機関との調整 ⑦ 教育部門による学会や資格取得に向けた研修等に対する支援方法の改善 ⑧ 教育部門の中核となる人材の処遇改善を含めた在り方検討 ⑨ 教育部門による指導者研修プログラムの開発に向けた事例調査、指導者に対する評価方法の事例調査及び制度設計 ⑩ 特定行為パッケージ研修の実施に向けた課題整理（再掲） ⑪ 各診療科、各部門における医療スタッフ必要数の精緻化（再掲） ⑫ 病院総合医の育成実績のある有力医療機関と連携した人材確保 ⑬ 広報部門によるSNSやレジナビなどを利用した広報戦略方針の検討 【指標】 <table><tr><th>項 目</th><th>令和5年度実績</th><th>令和7年度目標</th></tr><tr><td>先進施設訪問件数（勤務形態、人材育成等）</td><td>2件</td><td>3件</td></tr></table>	項 目	令和5年度実績	令和7年度目標	先進施設訪問件数（勤務形態、人材育成等）	2件	3件
項 目	令和5年度実績	令和7年度目標											
先進施設を訪問し、勤務形態や人材育成等に関する成果や課題を共有・検討した回数	2回	3回											
項 目	令和5年度実績	令和7年度目標											
先進施設訪問件数（勤務形態、人材育成等）	2件	3件											
第5 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2 費用の適正化 ① 経営の効率化に向けた医療需要の把握、医療情報による経営分析及びクリニカルパスの見直し ② 多様な病院の機能に応じた在庫の在り方検討及び共同購入や品目・仕様の共通化（後発医薬品、バイオ後続品の使用促進やフォーミュラリの活用を含む）など、購入方法の見直し ③ 規模・機能の見直しに伴う職員配置の適正化	第5 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 2 費用の適正化 ① 経営の効率化に向けた医療需要の把握、医療情報による経営分析及びクリニカルパスの見直し ② 多様な病院の機能に応じた在庫の在り方検討及び共同購入や品目・仕様の共通化など、購入方法の見直し ③ 規模・機能の見直しに伴う職員配置の適正化												